



さようなら Ver.6 こんにちは Ver.7

※Ver.6.3新規販売終了のお知らせ。Ver.7.4.0の新機能について

2022年 7月 26日(火)

NTTアドバンステクノロジー株式会社

○WinActor年表

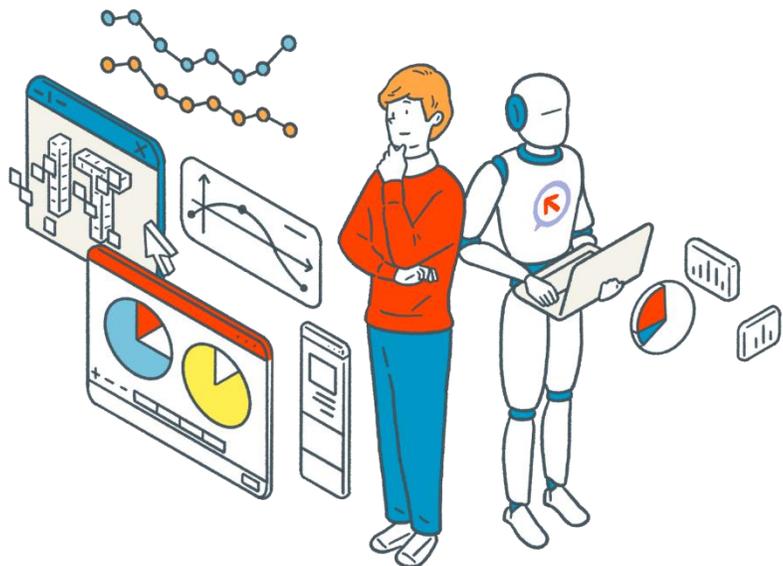
○さようなら、、、Ver.6 (Ver.6を振り返ろう)

○WinActorのライフサイクルポリシー

○Ver.6→Ver.7への進化

○Ver.6→Ver.7への移行ポイント

○今日のまとめ



WinActor年表

WinActor年表①

2010年

2012年

2014年

2018年

NTT研究所

NTT事業会社

NTT-AT

UMS Ver. 1~3

WinActor Ver.4

WinActor Ver.5

現場のために研究開発

現場での活用と改善

市場の現場に向け
製品化

現場目線での機能追加

※UMS(Unified Management Support system)

WinActor年表②

2019年

2020年

2022年

NTT-AT

WinActor Ver.6

WinActor Ver.7

WinActor Ver.7.4.0

現場フレンドリー

更なる使いやすさを目指して

ユーザの声を反映しながら

- ・WinActorノート
- ・WinActor Eye
- ・Cloud Library
- ・Chrome, Edge
- ・操作自動記録
- などなど...

3200
社突破

- ・GUI刷新
- ・非Java化
- ・v6と同じPCで同時使用可
- ・オンラインアップデート機能
- などなど...

6000
社突破

- ・新ブラウザ拡張機能の導入
- ・起動済みブラウザに対する操作
- ・オンラインライセンス登録
- ・ライブラリ自動最新化
- ・画面状態確認機能の充実
- ・記録時のWinActorウィンドウを小さくする
- などなど...

7000
社突破



さようなら・・・Ver.6

Ver.6 新規販売終了です。

2022年11月25日まで・・・

Ver.6.3.2の新規販売が、**2022年11月25日**にて終了となります。



Ver.6シリーズは本当に多くの方にご利用頂きました。

WinActorが国内での導入社数1位を獲得できたのもVer.6シリーズと、そしてたくさんの方々にご利用頂いたからこそだと、メーカーとしては考えています、本当にありがとうございました。

ただVer.6シリーズのマインドは、Ver.7シリーズへとしっかりと受け継がれていますし、Ver.7シリーズでは今までのVer.6シリーズを土台にして更なる使いやすさ、そして機能追加を追求していますので、この機会にぜひ、Ver.6シリーズからVer.7.4.0への移行をお願いします。

●v6.0.0(2019/5)

- ・メール受信機能
- ・WinActorノート
- ・Google Chromeの操作自動記録
- ・Chrome・Firefox・Edge自動操作ライブラリ

3200
社突破

●v6.1.0(2019/7)

- ・ノード右クリックでメニュー表示、サブルーチンにジャンプ

●v6.2.0(2019/10)

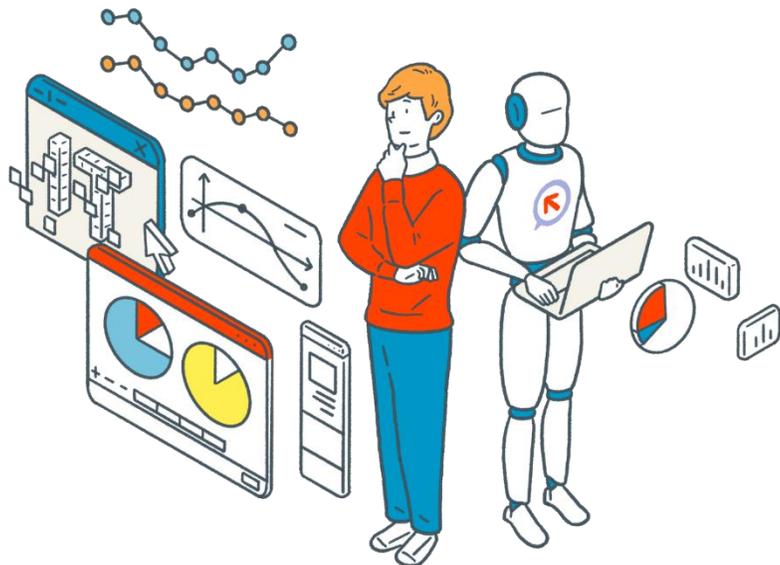
- ・サーバ接続時のセキュリティ強化
- ・WinActorノート端末機能

●v6.3.0(2020/3)

- ・WinActor Eye
- ・Firefox操作自動記録
- ・管理サーバsyslogサーバへのログ送信
- ・WinActorノートファイラー機能、バイナリ読み取り機能
- ・Cloud Library
- ・「ブラウザ関連ライブラリ」を用いて、Chromium版Edgeの自動操作が可能

5000
社突破





WinActorライフサイクルポリシーについて

○各Ver.の定義および表記方法について

WinActorは下記のようにVer.を表記&定義して、ユーザの皆さまへ提供しています。

Ver.表記

Ver	X	.	Y	.	Z
定義	メジャー		マイナー		バグフィックス

Ver.定義

定義	解説
メジャーバージョン(X)	WinActorを抜本的に改良し進化させた場合を、メジャーバージョンとして定義しています。 →『例：Ver 6.3.0→Ver 7.0.0など』
マイナーバージョン(Y)	WinActorに新しい機能等を搭載した場合を、マイナーバージョンとして定義しています。 →『例：Ver7.3.1→Ver7.4.0など』
バグフィックスバージョン(Z)	サポート中の最新のマイナーバージョンに対して、脆弱性対応や不具合等を改修した場合を、バグフィックスバージョンとして定義しています。 →『例：Ver7.3.1→Ver7.3.2等』

各Ver.のライフサイクルの考え方①

○各Ver.のライフサイクル

各Ver.のライフサイクルは下記のようなステージで定義しています。

ステージ1	該当Ver.において、新規ライセンスの購入および更新(買増)購入ができます。 メーカーの保守サポートもあります。
ステージ2	該当Ver.の新規ライセンスの購入はできませんが、現在利用しているライセンスの更新購入および、ライセンス更新時における買増購入は可能です。…※1別ページで事例紹介します。 メーカーの保守サポートもあります。
ステージ3	該当Ver.のライセンスの更新購入および、ライセンス更新時における買増購入もできなくなりますので、新しいVer.への移行をお願いします。…※2別ページで解説します。 メーカーの保守サポートのみあります。
ステージ4	該当Ver.におけるメーカーの保守サポートも終了となりますので、速やかに新しいVer.へ移行が必要です。

各Ver.のライフサイクルの考え方②

前ページの説明を図式化した表です。

ステージ	ステージ変更のタイミング	新規購入	更新（買増）購入	保守対応
ステージ1	WinActor最新Verの発売日	可	可	有
ステージ2	メジャーVer UP版またはマイナーVer UP版の発売日	不可	可	有
ステージ3	マイナーバージョン（最終）の場合：ステージ2移行の1年後	不可	不可	有
	マイナーバージョン（最終）以外の場合：ステージ2と同日			
ステージ4	マイナーバージョン（最終）の場合：ステージ3移行の1年後	不可	不可	無
	マイナーバージョン（最終）以外の場合：ステージ2移行の1年後			

※各Ver.のステージは下記をご参照ください。

WinActorライフサイクルポリシーに関する参照先URL:https://winactor.biz/product/winactor_document_list.html#wa_plp

各Ver.のライフサイクルの考え方③

○ライフサイクルの捕捉事例・・・※1

○ステージ2(新規購入:不可 更新(買増)購入:可)のケース

(例)Ver6.3.2のライセンス利用中(フル:5本)において

①更新のタイミングで現状の本数を維持して更新(フル:5本) → OK(フル:5本)

②現状の本数(フル5本)に追加で買増(フル:+3本)して更新 → OK(フル:8本)

③新規でライセンスを購入(フル:5本) → NG(フル:5本)

※ステージ2は『**既存ライセンスの更新時**』にしか、ライセンスを増やす方法がありませんので注意が必要です。

製品ライフサイクル 各ステージの終了期日※2

バージョン		リリース日	ライフサイクル			
X	Y		ステージ1 (販売中)	ステージ2 (更新受付中)	ステージ3 (保守対応中)	ステージ4 (保守終了)
5	3	2019/03/25	~2019/05/31	~2020/05/31	~2021/05/31	2021/06/01~
6	0	2019/5/31	~2019/07/08	~2020/07/08	~2020/07/08	2020/07/09~
	1	2019/07/08	~2019/10/17	~2020/10/17	~2020/10/17	2020/10/18~
	2	2019/10/17	~2020/03/04	~2021/03/04	~2021/03/04	2021/03/05~
	3	2020/03/04	~2022/11/25	~2023/11/25	~2024/11/25	2024/11/26~
7	0	2020/01/30	~2020/8/24	~2021/8/24	~2021/8/24	2021/8/25~
	1	2020/08/24	~2021/01/27	~2022/01/27	~2022/01/27	2022/01/28~
	2	2021/01/27	~2021/10/18	~2022/10/18	~2022/10/18	2022/10/19~
	3	2021/10/18	~2022/06/08	~2023/06/08	~2023/06/08	2023/06/09~
	4	2022/6/8	(V7.5リリース日)	(左記の1年後)	(左記と同日)	(左記の翌日)~

※2022年7月25日時点

Ver.6→Ver.7への進化



DX領域拡大に向け、Ver.7として様々な機能強化を実施

利便性	v 7.0 UIの刷新・高速化	v 7.2 ノーコードエディタ (Storyboard)	v 7.3 v 7.4	v 7.2 UIオートメーション
安定性/信頼性	v 7.0 デバッグ効率性向上	v 7.4 ライブラリ自動最新化	v 7.4 ブラウザ操作機能充実	
運用性	v 7.3 EdgeのIEモードに対応	v 7.3 他RPA連携 (PowerAutomate)	v 7.4 オンラインライセンス 更新	
高度化	v 7.1 NaRuKami (チャットボット)	v 7.2 スクリーンセーバーの 解除機能	v 7.3 v 7.4 画面状態確認機能	

DX領域拡大に向け、Ver.7として様々な機能強化を実施

利便性	UIの刷新・高速化 v7.0	ノーコードエディタ (Storyboard) v7.2 v7.3 v7.4	UIオートメーション v7.2
安定性/信頼性	デバッグ効率性向上 v7.0	ライブラリ自動最新化 v7.4	ブラウザ操作機能充実 v7.4
運用性	EdgeのIEモードに対応 v7.3	他RPA連携 (PowerAutomate) v7.3	オンラインライセンス 更新 v7.4
高度化	NaRuKami (チャットボット) v7.1	スクリーンセーバーの 解除機能 v7.2	画面状態確認機能 v7.3 v7.4

Ver.6→Ver.7へ

	Ver.6	Ver.7
GUIの刷新	個別ウィンドウ	1ウィンドウに集約 <ul style="list-style-type: none">・各領域は任意の場所に移動可能・複数シナリオをたちあげて、要素のコピーが可能・ウィンドウの配色(3つのテーマ選択可能)
ブラウザ操作	Chrome、Firefoxは、自動記録モード、ライブラリで対応	<ul style="list-style-type: none">・起動済みブラウザに対する操作が可能・IE操作と同じようにブラウザ操作が可能
スクリーンセーバーの解除	なし	シナリオ実行中のスクリーンセーバ起動を抑止したり、シナリオ実行時に起動したスクリーンセーバーを解除可能
精度の向上	<ul style="list-style-type: none">・画像マッチングの精度・WinActor Eye・指定時間待機	<ul style="list-style-type: none">・画像マッチングを使わず、直接指定する方法も追加・ライブラリ自動最新化・画面状態確認機能の拡充・オンラインアップデート

ブラウザ関連のライブラリ Ver.6とVer.7の比較

Ver.6

- 23_ブラウザ関連
 - ウィンドウクローズ.ums6
 - ウィンドウタイトル取得.ums6
 - ウィンドウハンドル取得.ums6
 - ウィンドウ数取得.ums6
 - クリック.ums6
 - ダイアログクリック.ums6
 - チェック状態取得.ums6
 - ドライバのパス取得.ums6
 - ファイル選択.ums6
 - フレーム選択.ums6
 - ブラウザクローズ.ums6
 - ブラウザ全クローズ.ums6
 - ブラウザ再起動.ums6
 - ブラウザ起動.ums6
 - ブラウザ起動(ドライバ指定・プロキシ設定).ums6
 - ブラウザ起動(ドライバ指定).ums6
 - ブラウザ起動(プロキシ設定).ums6
 - ページ表示.ums6
 - マルチリスト全選択解除.ums6
 - マルチリスト選択.ums6
 - マルチリスト選択解除.ums6
 - リスト一括取得.ums6
 - リスト選択.ums6
 - リスト選択取得.ums6
 - 任意のウィンドウへ移動.ums6
 - 値の取得.ums6
 - 値の設定(入力再現).ums6
 - 値の設定.ums6
 - 有効無効状態取得.ums6
 - 次のウィンドウへ移動.ums6
 - 表の値取得.ums6

31個

Ver.7

- 23_ブラウザ関連
 - 01_起動&クローズ
 - ブラウザクローズ
 - ブラウザ全クローズ
 - ブラウザ再起動
 - ブラウザ起動
 - ブラウザ起動 (ドライバ指定・プロキシ)
 - ブラウザ起動 (ドライバ指定)
 - ブラウザ起動 (プロキシ設定)
 - 指定URLのブラウザを閉じる
 - 02_ウィンドウ&タブ
 - ウィンドウクローズ
 - ウィンドウタイトル取得
 - ウィンドウハンドル取得
 - ウィンドウ数取得
 - タブ切り替え
 - 任意のウィンドウへ移動
 - 次のウィンドウへ移動
- 03_クリック
 - クリック
 - ダイアログクリック
 - 実行結果つきクリック
 - 指定タグの指定テキストをクリック
 - 指定テキストをクリック
- 04_待機
 - 状態変化待機 (値)
 - 状態変化待機 (要素)
 - 読み込み完了待ち
 - 読み込み完了待ち_タイムアウト付き
- 05_表
 - セルの存在チェック
 - テーブルスクレイピング
 - 表の一括取得
 - 表の値取得
 - 表の列数取得
 - 表の行数と列数取得
 - 表の行数取得
- 06_リスト
 - マルチリスト全選択解除
 - マルチリスト選択
 - マルチリスト選択解除
 - リスト一括取得
 - リスト選択
 - リスト選択取得
 - チェック状態取得
 - ドライバのパス取得
 - ファイル選択
 - フレーム選択
 - ブラウザ名を付ける
 - プロパティ値の取得
 - プロパティ値の設定
 - ページ表示
 - リンクのURL取得
 - 値の取得
 - 値の設定(入力再現)
 - 値の設定
 - 属性値の取得
 - 属性値の設定
 - 有効無効状態取得
 - 要素数取得

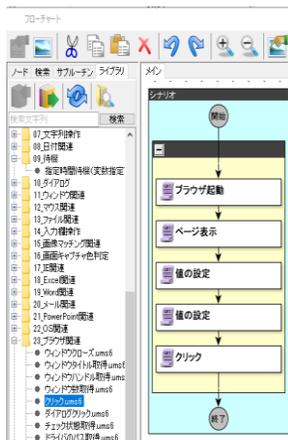
53個

※v7.4.0で追加

複数のシナリオを参照・フローのコピーが可能

Ver.6

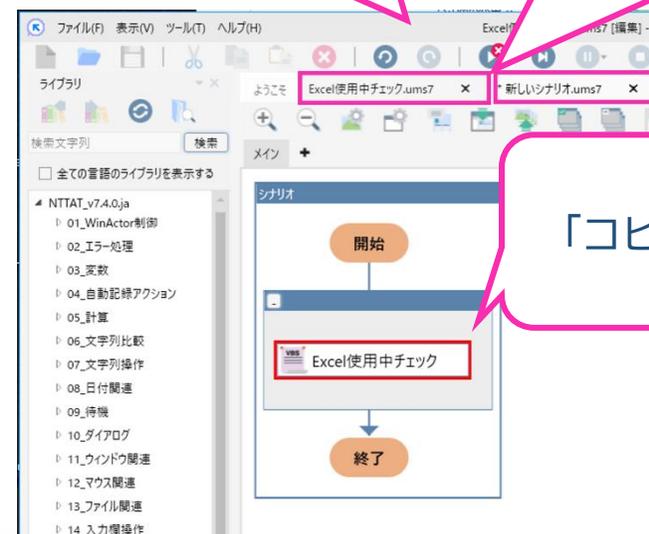
他のシナリオを参考にしながら新しいシナリオ作成したいけど・・・メモしながら・・・



Ver.7

複数のシナリオを参照・比較しながらのシナリオ作成ができます

※タブでわかれていきます



ここだけ「コピーして使いたい！」ができます

シナリオ作成が楽！
処理スピードも速！



○起動済みのブラウザの操作が可能

ユーザーで認証を済ませた起動済みのブラウザに対する操作が可能となり、
ロボット判定により自動化できなかったWebサイトの操作など、適応範囲が広がりました。

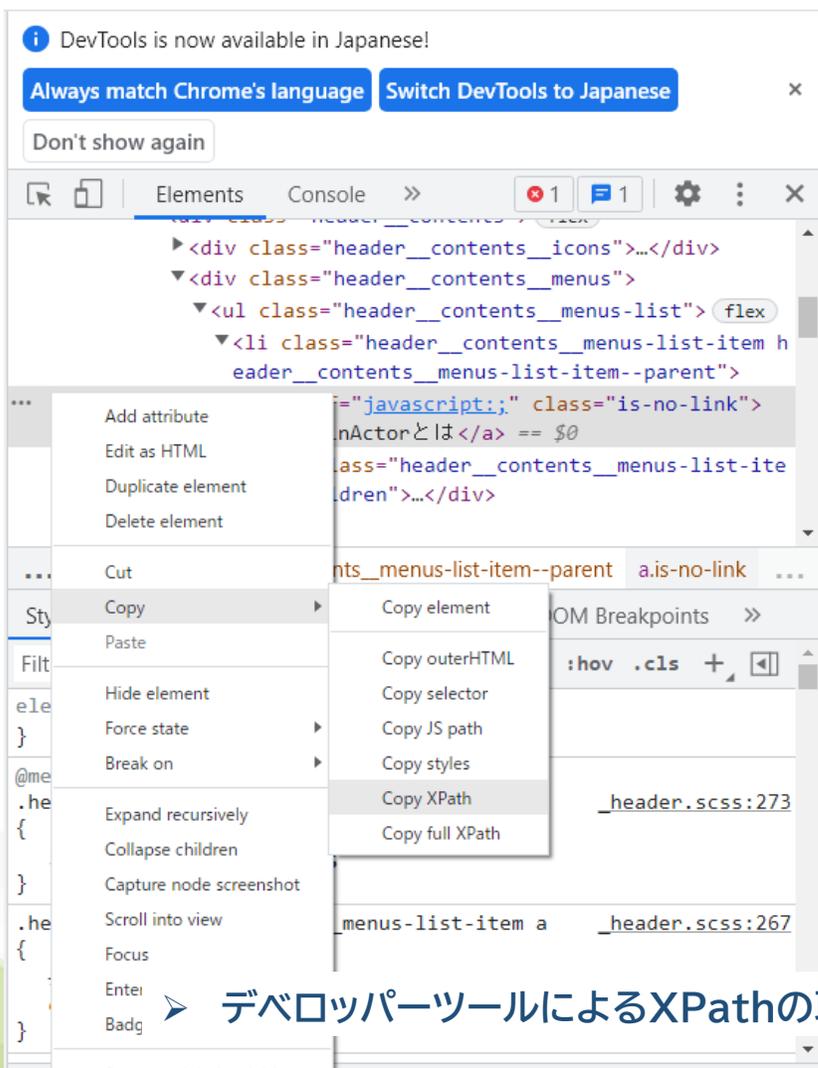
○IE操作のみ対応していた機能を、他のブラウザ操作にも適応

IE操作と他ブラウザでの機能差分がなくなり、より操作性が向上しました。

クリックだけでHTML上の要素の指定が可能

ブラウザ操作機能充実

Ver.6~Ver.7.2



➤ デベロッパーツールによるXPathの取得方法

Ver.7.3以降

直前に指定したブラウザ名を初期設定

「ブラウザ」ボタンを押すと直前の「ページ表示」で指定したページがブラウザで開きます。「選択」ボタンを押すと操作可能な要素が青枠で強調表示されるので、クリックで選択してください。

➤ ブラウザ上で要素をクリックするだけで、XPathを設定できるボタンが追加されます

Ver.6→Ver.7への移行ポイント

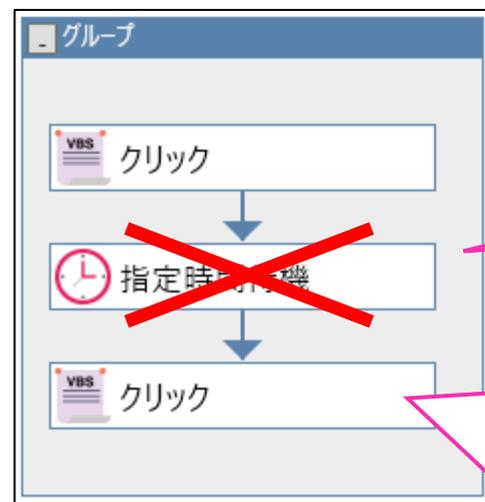


○WinActor Ver.7は、WinActor Ver.6と同じPCで同時に使用することが可能なため、**少しずつ移行を進める事が可能です。**

○Ver7.2で移行課題の1つとなっていた、処理スピードの違いによる実行エラーには、タイミング調整のため、「**指定時間待機ノード**」を配置し対応をいただきましたが、Ver.7.3で自動待機機能である「**画面状態確認機能**」が追加され、ノード実行が自動的に待機となりますので利便性の向上に繋がっています。

※タイミング調整のための「指定時間待機ノード」の配置が不要になります。

シナリオ実行時に**対象が操作可能**となるまで
ノードの**実行を自動的に待機**するようになります。



タイミング調整用

操作対象の要素がクリック可能になるまで自動的に待機するようになります。
(Ver.7.2以前も待機していましたが、タイムアウトし、エラーとなるまでの時間を設定できるようになります)

タイミング調整のための**指定時間待機**ノードの配置は**不要**となります。

※待機時間の設定が可能となるライブラリは次ページにて

シナリオ実行時に対象が操作可能となるまでノードの実行を自動的に待機するライブラリー一覧

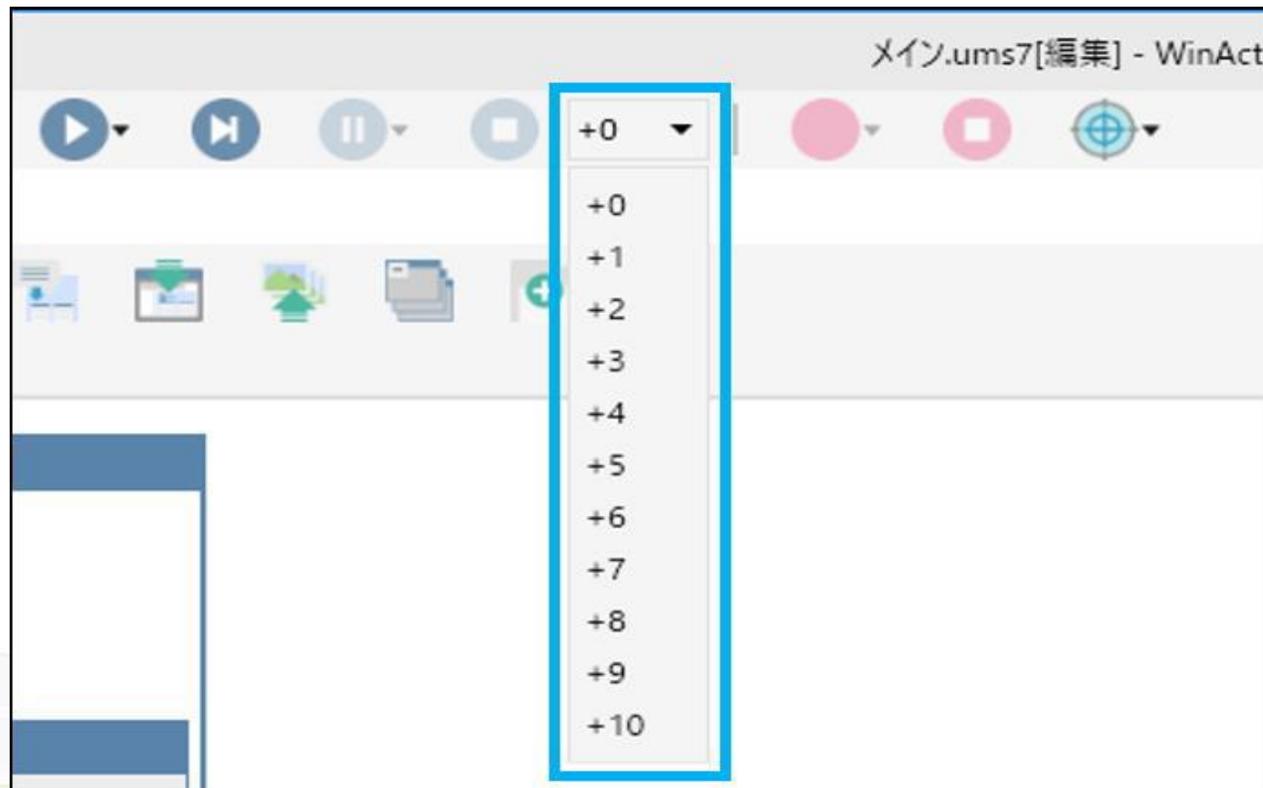
- 04_自動記録アクション配下のウィンドウ識別ルールを用いるライブラリ
- 11_ウィンドウ関連配下のウィンドウ識別ルールを用いるライブラリ
- 16_画面キャプチャ色判定配下のウィンドウ識別ルールを用いるライブラリ
- 17_IE関連配下のウィンドウ識別ルールを用いるライブラリ
- 23_ブラウザ関連配下のブラウザ操作関連ライブラリ
- 24_Java関連配下のウィンドウ識別ルールを用いるライブラリ

移行のポイント② シナリオ処理速度を変更する

方法1:スロー実行でためしてみる

メイン画面のプルダウンより実行速度の調整が可能です。

ゆっくり動かすことで、シナリオの動きを確認するのに利用できます。



方法2:スロー実行のライブラリ利用

ライブラリの「**スロー実行の設定**」にて、シナリオ速度を変更することが可能です。
シナリオの先頭に入れるだけで処理速度を変更できます。

The screenshot displays the software's configuration environment. On the left, a tree view shows the project structure under 'NTTAT_v7.4.0.ja', with '03_スロー実行の設定' (Slow Execution Settings) selected. The main area shows the 'スクリプト実行' (Script Execution) properties for the selected library, where the '実行速度' (Execution Speed) is set to 0. A callout box points to the 'スロー実行の設定' library icon in the scenario flowchart, indicating its placement at the beginning. Another callout box points to the '実行速度を設定' (Set Execution Speed) field in the properties, indicating where to adjust the speed.

シナリオの先頭に追加

実行速度を設定



NTT-ATの5つのビジョン。



 **WinActor[®]**

**WinActor Ver.7 をお使いいただくための準備
(Ver.5/Ver.6 をご利用中の方向け)**

2022年3月

NTTアドバンステクノロジー株式会社

© 2022 NTT Advanced Technology Corporation

※Ver.6をご利用のお客様向けのWinActor Ver.7移行参考資料(2022/3/23更新)



[WinActor公式サイト](#) > [WinActorを使う](#) > [WinActor TIPS資料](#)

○WinActor年表

→拡張子のUMSを見たら「薄皮まんじゅう」を思い出してくださいww

○さようなら、、、Ver.6 (Ver.6を振り返ろう)

→2022年11月25日に新規販売が終了します、ご愛顧ありがとうございました。

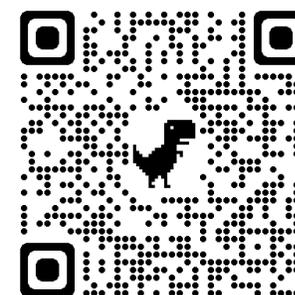
○WinActorのライフサイクルポリシー

→Ver.によって個別に設定しています、詳しく知りたい方は

WinActor公式サイトへGo!!

[【https://winactor.biz/product/winactor_document_list.html#wa_plp】](https://winactor.biz/product/winactor_document_list.html#wa_plp)

WinActor ライフサイクルポリシー



○Ver.6→Ver.7への進化

→Ver.7シリーズもVer7.4までできました。ぜひ使ってみてください！！きっと
〇ヤア・〇ズナブルのように「さらにできるようになったな、WinActor」と
思う事間違いなし！！

○Ver.6→Ver.7への移行ポイント

→2024年11月25日までVer.6は利用できるので、あせらず少しずつ移行を進めてください。
→『同時起動と画面状態確認機能を活用』と『シナリオ処理スピード』の活用がオススメ。
→ブラウザ移行やVer.移行がよりスムーズに簡単に行える機能もあるのでぜひ！！

※さらに詳しく知りたい方はWinActor公式サイトへGo！！

【https://winactor.biz/docs/WinActor_V7_MigrationDocument_20220323.pdf】



ご清聴
ありがとうございました



Human Power and Technology

